

旭川市広報広聴推進懇談会（令和2年度第3回）会議録

会議の概要	
日時	令和3年2月22日（月） 午後6時30分から午後7時30分まで
場所	旭川市総合庁舎2階 議会棟第3委員会室
出席者 （参加者）	9名 岡田政勝，栗谷川拓巳，塩尻曜子，日永教優，皆川克己， 安岡理沙，やまだめい，若林彩，渡辺直行
出席者 （事務局）	5名 （広報広聴課）杉山課長 （広報広聴課広報係）阿部，村田，吉野 （広報広聴課広聴係）田代係長
会議の公開・非公開	公開
傍聴者	なし
会議資料	<ul style="list-style-type: none"> ・資料1 参加者名簿 ・資料2 参加者座席表 ・資料3 旭川市市勢要覧の発行について ・資料4 暮らしの便利帳の発行について

1 開会

(1) 参加者確認

(2) 資料確認

2 議事

(1) 議題1 「進行役選出」

(事務局)

- ・本懇談会の進行役の選出について、事務局では、要綱第4条の規定に基づき、旭川市社会福祉協議会の岡田さんをお願いしたいと考えている。
- ・異議がないため岡田さんを選出する。
これからの議事進行をお願いします。

(進行役)

- ・それでは、議事を進行する。

(2) 議題2 「市勢要覧の発行に関する説明及び意見聴取」

(進行役)

- ・次に、議題2 市勢要覧に関する説明及び意見聴取について、事務局から説明する。

(事務局)

資料3「旭川市市勢要覧の発行について」の説明。

- ・発行目的 本市の魅力や文化等を写真や文章で紹介し、官公庁や他都市へ配布することで、本市への関心と理解を深めてもらう
- ・掲載内容 観光情報・地域産業等の本市の魅力や特徴のほか、総合計画や統計情報
- ・発行時期 次回は令和3年6月の予定
- ・本懇談会で、掲載内容やデザイン・レイアウトについての改善点、次回の作成時に反映したほうがよい点などの意見を聴取し、具体的な取組に反映していく。
- ・前回からの大きな変更点として、デザイン都市について追加した。
- ・前回の懇談会でいただいたグルメや歴史・文化・芸術についてはページの増加はないが、写真の掲載方法を変更し、わかりやすいものにする。

(進行役)

- ・事務局からの説明等を踏まえて、御意見、疑問点等を伺いたい。

(参加者)

- ・他都市と見比べて、写真全部に訳注がついているため、文字による情報量が多い。
- ・もう少し余白があったら読みやすい。

(事務局)

- ・文字数の多さは課題として認識している。
- ・文字数や写真のサイズなどを調整し、見やすい形式にして発行したい。

(参加者)

- ・データが掲載されているが、他都市だとグラフで表現されていて見やすい。
- ・全てのデータが必要ではないと思うので、強調したい箇所だけを掲載してはどうか。
- ・読み手のニーズに合わせ、文字だらけにはしないほうがよい。

(事務局)

- ・人口と行政・財政にしかグラフが使われていないため、特に目立たせる箇所を考えて見やすくなる工夫をしたい。
- ・越谷市だとデータ部分だけ別冊にしているので、その形式も検討したい。

(参加者)

- ・データを掲載しているが、そこから何がわかるのかというつながりがない。
- ・強みや優れたところなど特徴的な部分の説明を付けたらどうか。

(事務局)

- ・旭川市の特徴となる部分を検討し、クローズアップさせたい。

(参加者)

- ・英語表記がされているが外国の方にも配布することがあるのか。
- ・英文のある箇所とない箇所があるので、英語表記はなくしてもよいのではないか。
- ・必要があるなら英語表記だけの冊子を別で作るという選択肢もある。
- ・英文を入れることによってスペースが狭くなり読みづらくなっている。

(事務局)

- ・割合は多くはないが外国の方への配布も想定している。
- ・英文については文字が小さくて読みづらいという意見もあったため、今後どうするか検討したい。

(参加者)

- ・先ほど話題にあったデータ部分を別冊にするのは良いアイデアだと思う。
- ・最初の5ページぐらいでその市の印象が決まる気がする。
- ・冒頭部分は市長の挨拶ではなく、デザイン都市や旭川家具など目立たせたいものを序盤に持ってきたらよいのではないか。

(事務局)

- ・前はクラフトの記事が1ページだったが、今回は見開きで掲載する予定である。

(参加者)

- ・旭川の魅力や住みやすい特徴などについて、住んでいる人の声を載せてもよいのではないか。
- ・市外の人を読むことを想定して、旅行ガイドのように地元の見どころなどを紹介してもいい。

(事務局)

- ・人の声は広報誌には載せているが市勢要覧には載せたことがないため、載せるかどうかを検討する。

(参加者)

- ・何部製作し、誰に配布しているのか。
- ・読み手を強く意識しないと良いものが作れない。
- ・強いメッセージを伝えるなら英文はいらないと思う。
- ・写真のクオリティーが悪すぎて、普通なら使えない写真である。
- ・金沢市も創造都市で、クラフトや伝統文化の息づいた街であるから写真が厳選されている。

- ・デザイン都市になったのだから、世界のデザイン都市に配布してもおかしくないよう、もっとデザインを意識してほしい。

- ・外部の人から見たら旭川の魅力は冬だけど、これは内部の人が作っているから冬の写真がない。

(事務局)

- ・2,000部製作し、官公庁や他都市の関係機関、視察で来旭した方などに配布している。

(参加者)

- ・旭川デザインウィークでは配布されないのか。

(参加者)

- ・配布されていない。

(進行役)

- ・行政関係の人に配布しているが、そういう場では配布していない。
- ・役所の職員が役所関係の人に配布する想定で作られているが、ポイントを絞らないと伝わらない。
- ・職員が行っている仕事の全部を載せたがる。

(参加者)

- ・粗末な紙に白黒で印刷しても、しゃれたメッセージが書かれていればデザインになる。

(参加者)

- ・配布数が多いのかと思っていたが、残数がけっこうあるのはもったいない。

(進行役)

- ・現在は無料で作成しているが、受け取るターゲットを絞らないと良いものがない。

(参加者)

- ・四季に分けるとか、デザインや彫刻などの分野別にしてもよいと思う。
- ・毎回発行するごとにテーマを変えて、数年分そろえば全部完成にしても面白い。

(進行役)

- ・情報量が多すぎる。

(参加者)

- ・データはさほど載せなくてもよい。
- ・旭川ゆかりのオリンピックの金メダリストをもっと大きく取り上げるべきだ。

(3) 議題3 「暮らしの便利帳に関する説明及び意見聴取について」

(進行役)

- ・次に、議題3 暮らしの便利帳の発行に関する説明及び意見聴取について、事務局から説明する。

(事務局)

資料4について説明。

- ・掲載内容 市の窓口や必要な手続きなど、行政情報を中心に旭川市の情報を掲載
- ・発行時期 前は平成31年3月に事業者と共同で発行、同年4月に全戸配布し、それ以降は市への転入世帯に対して、市の窓口などで配布している
- ・課題 広告収入を元に発行しているため制作費用は生じていないが、新型コロナウイルス感染症の影響により、従前どおりの広告収入が見込めないため、今後の全戸配布が困難である。広報誌、ホームページ、SNS等の情報媒体が充実しているため、全戸配布は廃止し、転入世帯のみへの配布を検討している。

※本懇談会において、暮らしの便利帳の全戸配布を実施できる事業者がいないという前提に基づき後述のとおり議論したが、懇談会后に、全戸配布が不可能としていた事業者のうち1者から、全戸配布が可能であるとの申し出を受けたため、令和3年度においては全戸配布を継続することとした。したがって、議題3については、現状と違う前提条件に基づいて実施された議論である。

(進行役)

- ・事務局からの説明等を踏まえて、御意見、疑問点等を伺いたい。

(参加者)

- ・発行部数は。
- ・全戸配布しているのか。
- ・緊急時にスマホが使えない際には、これに掲載されているハザードマップが使える。

(事務局)

- ・18万部から19万部。
- ・もともとは全戸配布であったが、コロナなどによる社会情勢の変化もあり、次回発行時、全戸配布での実施が困難な状況である。

(参加者)

- ・SNSが充実しているということだが、どういうものがあるのか。
- ・SNSの情報は随時更新だが、紙媒体だといつでも同じ情報が見られるため、なくすのはもったいない。

(事務局)

- ・ツイッター、フェイスブックなどあるが、SNSを使えない人もいるため紙媒体での配布が必要。

(参加者)

- ・転入世帯や施設などへの配布だけで十分。配布している施設を広報誌やSNSで周知しておけばよい。

(事務局)

- ・暮らしの便利帳は市のホームページで電子書籍としても掲載しているため、それを周知していく。

(参加者)

- ・たくさん冊子があるとどれを見たらよいのかわからなくなるため、困った時にどの冊子を見たらよいのか把握できるものとして、暮らしの便利帳があるのは良いと思う。

(参加者)

- ・ほかの部署が作成した冊子はどのような所に設置されているのか。
- ・設置場所を増やしたらどうか。

(事務局)

- ・各担当部署の窓口に設置している。
- ・特定の制度に該当することになった人に対して、担当窓口での手続きの際に渡すことが多い。
- ・市有施設に行かない人もいると思うため、設置場所の増設について検討したい。

(参加者)

- ・家の中で保管しているが、普段なかなか見ることはない。
- ・特に高齢になるにつれ、見たい情報を探せなくなる。
- ・ハザードマップなどのように、個別に発行されているもので間に合っている。
- ・全戸配布しなくても、必要な人が求めたらもらえるという仕組みにしたら良いのではないか。
- ・必要な情報は広報誌で入手できるし、その方が見やすい。

(事務局)

- ・目的に合わせた冊子が数多く発行されているが、それらの存在を知らない人がいるため、必要な人に必要なものが届くよう周知していく。

(参加者)

- ・自力での入手が困難な方には郵送すると書いている。直接取りに行くこともできるが、希望すれば郵送してもらえるのか。

(事務局)

- ・希望があれば応じるが、取りに来られる方には取りに来てもらうようにしたい。

(進行役)

- ・配送料がけっこうかかると思うが、希望者は限定しないのか。
- ・健常者が郵送を希望したらどんどん費用がかかるのではないか。

(事務局)

- ・その線引きはしっかり決めたい。

(参加者)

- ・暮らしの便利帳は作り続けるのか、それとも作ること自体を検討するのか。

(事務局)

- ・発行はするがページの減少や全戸配布の見直しを検討する。

(参加者)

- ・今まで使っていなかった人でも、配布されなくなったとクレームを言い出す人がいると思う。
- ・今後全戸配布しないことや、設置場所の周知はした方が良いと思う。

(事務局)

- ・今後の全戸配布は費用面から考えて厳しい。
- ・全戸配布の廃止と設置場所については周知したいと思う。

(参加者)

- ・掲載内容がほとんど変わらないから、この10年ほど見ていないし、配布される度にすぐに廃棄する。
- ・ホームページで見ることができるし、周囲の人たちも同じようにしていると思う。
- ・紙媒体での発行や全戸配布は必要ないと思うが、必要としている世代に対しての配布が課題だと思う。

(事務局)

- ・高齢者と若者で使用方法が違ふと思うので、ニーズに合わせた使用方法の提案をしたい。
- ・転入者には配布したい。

(進行役)

・概要しか掲載していないから、詳細を知りたいければ別の冊子が必要となるため、今の時代を考えると作る必要性はないと思う。

(参加者)

- ・高齢者は若者が思うよりもSNSを使っていると思う。
- ・これから時間が進めば、ますます高齢者の使用率が增える。

(参加者)

- ・市勢要覧と便利帳で開き方が違うが，統一しないのか。

(事務局)

- ・縦書きと横書きで開き方を分けている。

(参加者)

- ・縦組みか横組みかで使い分けるのが基本であり，横組みが主流なので左開きが多い。

(参加者)

- ・先ほど写真が駄目という意見があったが，インスタグラムなどの写真を使うことはできないのか。

(事務局)

- ・これまでは広報誌に掲載された写真を主に使用してきたが，今後はインスタグラムの写真などの使用も検討する。

(4) 議題4 「令和3年度第1回の議事について」

(進行役)

- ・議題4 令和3年度第1回の議事について，事務局から説明する。

(事務局)

- ・次回の懇談会は5月を予定している。
- ・議事については，新年度に内部で検討した上，提示したい。

3 閉会

(進行役)

- ・以上で会議を終了する。

以 上